

神戸市外国語大学 二部英米学科 2012年度コース・シラバス

科目名: 専攻英語 IV 講読[3]－G2(通年科目)

曜日時限: 月曜7限

担当教員: 中嶋 圭介(法経商コース・専任講師)

研究室: 研究棟807号室

オフィス・アワー: 随時(事前にメールでアポを取ってください)

E-mail: info@knakashima.net (授業に関する質問、欠席連絡、教員とのアポ用)

URL: www.knakashima.net (教員の個人ウェブ。シラバスの最新版、関連資料の掲載用)

主題と目標

「失われた 10 年」がいつしか 20 年を越え、内向き・短期志向を強める日本をよそに世界はますます激変している。本講義は、2025-30 年の将来を見通し、その時代までに世界を根本的に変えてしまうかもしれない「7つの地球規模課題」に関する英語文献を講読する。温故知新という言葉があるが、その逆のアプローチもある。つまり、国境や時間を越えて遠く先へ視線を向けることで、今日の世界状況や今やるべきことが明確になる。この授業では、この後者の知的訓練を通して地球規模課題への理解を深め、批判的思考と建設的議論によって解決策を求める力を養うことによって、グローバル市民・人材の育成を目指す。

評価の方法・基準

出席 (20%) : (出席回数) ÷ (通年授業回数) × 20

授業発表・参加態度 (30%) : 毎回の講義の評価点を「1」とした場合、発表担当者は、メーリング・リスト (ML) 上でのコメントが 1/3、クラス発表が 2/3 を占める。発表担当者以外は、ML 上での「リアクション・ペーパー」提出が 2/3、クラス出席が 1/3 を占める。(評価点合計) ÷ (通年授業回数) × 30

前期・後期レポート(各25%) : 2000~3000字(日本語。希望すれば、英語でも提出可)のレポートをそれぞれの学期末に課す。40点満点で評価し、これをそれぞれ各25点分の評価点に換算する。

履修にあたっての注意

- 7回以上の欠席者に単位は認めない。欠席する際には、事前にメール連絡すること。
- 授業に関する連絡回覧等のため、常時使用可能なPCメールアドレスを初回授業で提出すること。
- 一方的なレクチャーや知識の詰め込みではなく、教員と学生間の質疑応答、学生間の議論から学びあうことを重視する。
- リーディング課題を読んで考えたこと、疑問に思ったこと、自分のリサーチで見つけた興味深い文献・データなど(「リアクション・ペーパー」と読ぶ)を、授業前日までに、メーリング・リスト(ML)で他のクラスメイトと共有する。発表担当者は、MLで他のクラスメイトの「リアクション・ペーパー」にコメントを返す。このようなオンライン上の双方向の意見・情報交換を経た上で、授業当日、発表担当者がリーディング課題を要約、解説し、さらに理解を深めるためのディスカッションをリードする。

教科書

米国戦略国際問題研究所 (CSIS) が、全米公立大学協会 (AASCU) と New York Times 紙とのパートナーシップによって開発した教育プログラム (The Seven Revolutions) をベースにして、メディア記事 (英 Economist 誌、米 Foreign Policy 誌、他)、シンクタンク・政府・国際機関の報告書から学術論文まで、あらゆる英文資料にあたってもらふ。オンラインで入手可能なものを中心に使用する。

指定図書

講義前半は、教員が背景資料を提示することもある。やがてその頻度や量を減らし、各自が主体的、効率的に背景リサーチするスキルを身につける。

担当教員より一言

上述した「リアクション・ペーパー」(文章にして1~2段落程度の分量)をMLで毎回提出を求められるとい

うことは、発表担当者もそうでない人も、最低限自身のコメントを書ける程度の予習が必要になります。課されるリーディングは、比較的高度な内容のものもあり、分量も多めです。要するに、「かなりきついクラス」になることを覚悟しておいて下さい。皆さんは、卒業を目前にした4回生です。「英米学科専攻」の名に恥じない知識や能力を身につけて卒業するための最終年度のクラスですので、予習や講義でも高い水準を求めます。それはつまり、一つ一つの文章の訳や語句の意味にこだわり過ぎてテキストに意識を埋没させてしまうのではなく、体系的に読みながら構造や要点をつかみ、背景知識が足りなければ主体的にリサーチして補い、得た知識を整理し、噛み砕いて理解し、自身の意見も踏まえてそれらを口頭や文章で表現できる(日本語でもよい)ところまでを、目指してください。一年のり切った方には、社会に出て英語を使って働くために役立つ何かを身につけたと実感していただけたと思います。

テーマ概要

「7つの地球規模課題」(CSISのネーミングでは“Seven Revolutions”)は以下の通り。授業の進度に応じて内容・順序を変更したり、文献を差し替えたりする可能性がある。変更があった場合は、MLで告知するとともに、ウェブ上でシラバス最新版を掲載する。< <http://www.knakashima.net/lectures> >

Revolution 1: Population

- Population growth in developing countries
- Population decline and aging in developed countries
- Urbanization
- International migration

Revolution 2: Resource Management

- Food and hunger
- Water
- Energy
- Climate change

Revolution 3: Technology

- Computation
- Genetics and biotechnology
- Nanotechnology
- Convergence of technologies
- Human health

Revolution 4: Information

- Connectivity
- Lifelong learning
- Information integrity

Revolution 5: Economic Integration

- Globalization characteristics
- BRIC economics (Brazil, Russia, India, China): the challenge of global balance of productivity
- Continuation of extreme poverty

Revolution 6: Conflict and Security

- Sources and causes of conflict
- Changing patterns of conflict
- Addressing conflict resolution
- Transnational organized crime

Revolution 7: Governance

- Corporate citizenship and multinational corporations
- Civil society and nongovernmental organizations
- National governments
- International organizations
- Need for strategic coalitions

講義の進行の仕方・時間配分

【講義 2 日前 9 PM】発表者以外の「リアクション・ペーパー」締切

↓

【講義前日 9 PM】発表者からクラスメイトへの「コメント」締切

↓

【講義当日】

教員: 出欠確認・講義内容への導入(5~10分)

発表担当者: 持ち時間の半分を担当文献の要約・要点の解説、残り半分を追加リサーチを踏まえて共有したい他のデータや文献、自身のコメントなどで使う。(15~20分×3人)

全体ディスカッション(残り時間 20分)

リーディング課題

Lecture 1: 4/9/2012 Introduction

講義概要の説明。講義のテーマ枠組である「7つの地球規模課題」(Seven Revolutions)への導入。

Reading Assignments:

- *Seven Revolutions Student Guide* (CSIS, June 2010).
http://csis.org/files/publication/7revs_student_guide_june2010.pdf

Revolution 1: Population

Lecture 2: 4/16/2012 World Population Growth

Reading Assignments:

- Robert Kunzig, "Population: 7 Billion," *National Geographic*, January 2011.
<http://ngm.nationalgeographic.com/2011/01/seven-billion/kunzig-text>

References:

- *Seven Revolutions Student Guide* (CSIS, June 2010), pp. 2-4,
http://csis.org/files/publication/7revs_student_guide_june2010.pdf
- Cynthia Gorney, "Machisma," *National Geographic*, September 2011.——ここ数十年で、急速に出生率が低下しているブラジル。国家的介入が特徴の中国やインドと異なるアプローチ。 <http://ngm.nationalgeographic.com/2011/09/girl-power/gorney-text>
- 特集「世界の人口が 70 億人を突破へ、人口爆発の現場を取材」NEWS23X(TBS テレビ)2011 年 10 月 26 日 <http://www.tbs.co.jp/news23x/feature/f201110260000.html>
- 中嶋圭介「巨大高齢国家・中国の誕生」金融財政ビジネス(時事通信)2009 年 4 月 6 日——課題文で中国の「一人っ子政策」が出てきますので、その参考として。年金・資本制度等のセクションは無視して OK。
- この他、「マルサスの人口論」「1972 年のローマクラブ『成長の限界』」などについて、日本語でもいいのでざっと背景リサーチをしておく、本文の意味が分かりやすい。

Lecture 3: 4/23/2012 Global Aging

Reading Assignments:

- *A Special Report on Aging Populations, The Economist*, June 25, 2009.
<http://www.economist.com/node/13888045>
上記の特集号の中から以下4つの記事が必須。その他はオプショナル。
 1. "A slow-burning fuse"
 2. "Suffer the little children"
 3. "A world of Methuselahs"
 4. "Into the unknown"

References:

- 中嶋圭介「地球高齢化時代」『3・11 で現実化した「成長の限界」が日本を再生する』(2011) pp.69-92.

- 中嶋圭介「グローバル・エイジング—高齢化によって一変する世界と日本の長期国際戦略(前編)(後編)」政策空間(2005 年 11・12 月号)
http://www.policyspace.com/2005/11/post_467.php
http://www.policyspace.com/2005/12/post_477.php

Lecture 4: 5/7/2012 (休講日)

Lecture 5: 5/14/2012 International Migration

Reading Assignments:

- *A Special Report on Migration, The Economist*, January 5, 2008.
<http://www.economist.com/node/10286197>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必須。その他はオプショナル。

1. “Open up”
2. “Of bedsheets and bison grass vodka”
3. “Circulate or integrate”
4. “The long-term”

References:

- 『日本の論点』(文藝春秋編)
2011 年版
1. 「今こそ「新文明開化」を一移民の受け入れこそ、需要を創り知日派を創る」堺屋太一
2. [基礎知識] 「日本の「移民国家化」はどこまで進んでいるか？」
2009 年版
3. 「「移民 1000 万人」を目指す理由—多文化共生社会こそ日本の生きる道」中村博彦
4. 「西欧の教訓—大量の移民受け入れは日本社会を間違いなく混乱させる」小池和男
5. [基礎知識] 「移民受け入れ議論の背景に何があるか？」

Revolution 2: Resource Management

Lecture 6: 5/21/2012 Food (1): Demand & Supply of Food

Reading Assignments:

- *A Special Report on Feeding the World, The Economist*, February 26, 2011.
<http://www.economist.com/node/18200618>

1. “The 9 billion-people question” (必須)
2. “How much is enough?” (必須)
3. “No easy fix” (必須)
4. “Doing more with less” (必須)
5. “A prospect of plenty” (任意, Food (2)の参考)

References:

- 石弘之「2050 年の世界をいかに養うか 人口増と成長で深みにはまる食糧問題」(2009 年 12 月 8 日) <http://eco.nikkeibp.co.jp/article/column/20091207/102780/>
- 「種子戦争を勝ち抜け」*The Asahi Shimbun Globe* (2008 年 11 月 3 日)
<http://globe.asahi.com/feature/081103/index.html>

Lecture 7: 5/28/2012 Food (2), Geopolitics of Food

Reading Assignments:

- Lester R. Brown, "The New Geopolitics of Food, *Foreign Policy* (May/June 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/04/25/the_new_geopolitics_of_food

References:

- 「土地争奪」 *The Asahi Shimbun Globe* (2010 年 9 月 6 日)
<http://globe.asahi.com/feature/100906/index.html>

Lecture 8: 6/4/2012 Water

Reading Assignments:

- *A Special Report on Water, The Economist*, May 22, 2010.
<http://www.economist.com/node/16136302>

1. "For want of a drink"
2. "Enough is not enough"
3. "Making farmers matter"
4. "Trade and conserve"

References:

- 朝日環境フォーラム 2010「水の惑星」
<http://www.asahi.com/eco/forum2010/water/j/>
- 「水が、足りない」 *The Asahi Shimbun Globe* (2009 年 5 月 25 日)
<http://globe.asahi.com/feature/090525/index.html>

Lecture 9: 6/11/2012 Energy (1)

Reading Assignments:

- *A Special Report on the Future of Energy, The Economist*, June 21, 2008.
<http://www.economist.com/node/11565685>

1. "The power and the glory" (必須)
2. "Trade winds" (任意, 欧州の風力発電)
3. "Another silicon valley" (必須)
4. "Grow your own" (必須)
5. "The end of the petrolhead" (必須)
6. "Life after death" (任意, Energy (2)の参考)

References:

- 十市勉氏のオンライン連載コラム『資源 Wars』
<http://premium.nikkeibp.co.jp/em/column/toichi/index.shtml>
- 「電気自動車の実力」 *The Asahi Shimbun Globe* (2009 年 4 月 20 日)
<http://globe.asahi.com/feature/090420/index.html>
- 「地熱発電ルネサンス」 *The Asahi Shimbun Globe* (2011 年 10 月 2 日)
<http://globe.asahi.com/feature/111002/index.html>

Lecture 10: 6/18/2012 Energy (2)

Reading Assignments:

- Yuki Tanaka, “Nuclear Nation: Japan’s Unlikely Love Affair with Atomic Energy,” *Foreign Policy* (March 22, 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/03/22/nuclear_nation
- “Nuclear Winner,” *Foreign Policy* (March 22, 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/03/22/nuclear_winner

References:

- 「原発、揺れる世界」*The Asahi Shimbun Globe* (2011 年 4 月 17 日)
<http://globe.asahi.com/feature/110417/index.html>
- *A Special Report on Nuclear Energy, The Economist*, March 10, 2012.
<http://www.economist.com/node/21549098>

Lecture 11: 6/25/2012 Climate Change

Reading Assignments:

- *A Special Report on Climate Change and the Carbon Economy, The Economist*, December 3, 2009.
<http://www.economist.com/node/14994872>

上記の特集号の中から以下5つの記事が必須。その他はオプション。

1. “Getting warmer”
2. “Is it worth it?”
3. “Good policy, and bad”
4. “Closing the gaps”
5. “What needs to change”

References:

- 日経 BP の「地球温暖化」テーマに特化したサイト『Eco Japan』
<http://eco.nikkeibp.co.jp/climate/column.html>

Revolution 3: Technology

Lecture 12: 7/2/2012 Social Networking

Reading Assignments:

- *A Special Report on Social Networking, The Economist*, January 30, 2010.
<http://www.economist.com/node/15351002>

上記の特集号の中から以下5つの記事が必須。その他はオプション。

1. “A World of Connections”
2. “Global Swap Shops”
3. “Profiting from Friendship”
4. “Yammering Away at the Office”
5. “Privacy 2.0”

References:

- 『ソーシャル・ネットワーク』(2010 年アメリカ映画)

Lecture 13: 7/9/2012 Biology

Reading Assignments:

- *A Special Report on The Human Genome, The Economist*, June 19, 2010.
<http://www.economist.com/node/16349358>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必須。その他はオプショナル。

1. “Biology 2.0”
2. “Marathon man”
3. “Inhuman genomes”
4. “The soul of an old machine”

References:

- ミレニアム・ゲノム・プロジェクト評価・助言会議(小泉政権, 官邸)『最終評価報告書』
<http://www.kantei.go.jp/jp/mille/genomu/index.html>
- その他にも、「1000 人ゲノムプロジェクト」「イネゲノム」などをキーワードにリサーチ。

Lecture 14: 7/23/2012 Alvin Toffler (Futurist)

Reading Assignments:

- Ayesha & Parag Khanna, “Technology Will Take on a Life of Its Own,” *Foreign Policy* (September/October 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/08/15/technology_will_take_on_a_life_of_its_own
- Ayesha & Parag Khanna, “The Annotated Toffler,” *Foreign Policy* (August 17, 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/08/17/the_annotated_toffler

References:

- 「アルビン・トフラー: 未来学者の中の未来学者」DIAMOND ONLINE (2008 年 10 月 29 日) <http://diamond.jp/articles/-/5353>
- Lawrence M. Fisher, “Alvin Toffler: The Thought Leader Interview,” *Strategy + Business* no. 45 (New York: Booz & Company, Winter 2006).
<http://www.strategy-business.com/article/06408?gko=dec3>
- “Alvin Toffler,” an interview session with Alvin Toffler, organized by the World Affairs Council, San Francisco, CA, May 16, 2006.
http://fora.tv/2006/05/16/Alvin_Toffler

Lecture 15: 7/30/2012

- 授業評価アンケート
- 期末レポートで選ばれたテーマごとにグループ分けして、情報交換、ディスカッション

【後期授業】

Revolution 4: Information

Lecture 1: 9/24/2012 Information Management (1)

Reading Assignments:

- *A Special Report on Managing Information, The Economist*, Feb 27, 2010.
<http://www.economist.com/node/15557443>
 1. Data, data everywhere
 2. A different game (*skim*)
 3. Clicking for gold (*skim*)

Lecture 2: 10/1/2012 Information Management (2)

Reading Assignments:

- *A Special Report on Managing Information, The Economist*, Feb 27, 2010.
<http://www.economist.com/node/15557443>
 1. The open society
 2. New rules for big data
 3. Handling the cornucopia

Lecture 3: 10/15/2012 Future of Work

Reading Assignments:

- *A Special Report on The Future of Jobs, The Economist*, Sep 8, 2011.
<http://www.economist.com/node/21528433>
 1. The great mismatch (*skim*)
 2. Self-help: My big fat career
 3. Company's concerns: Got talent?

Revolution 6: Conflict and Security

Lecture 4: 10/22/2012 Cybersecurity (1)

Reading Assignments:

- "Cyberwar," *The Economist*, July 1, 2010.
<http://www.economist.com/node/16481504>
- "War in the Fifth Domain," *The Economist*, July 1, 2010).
<http://www.economist.com/node/16478792>

References:

- 「サイバー戦争:それは脅威なのか」*The Asahi Shimbun Globe* (2010 年 10 月 4 日)
<http://globe.asahi.com/feature/101004/index.html>

Lecture 5: 10/29/2012 Cybersecurity (2)

Reading Assignments:

- William J. Lynn III, Deputy Secretary of Defense, U.S. Department of Defense; “The Pentagon's New Cyberstrategy” (speech at the Council on Foreign Relations, September 30, 2010).
<http://www.cfr.org/defensehomeland-security/foreign-affairs-live-pentagons-new-cyberstrategy/p23080>

Note: 同リンク内で Video・Audio を見ることも可能です。リン国防副長官の冒頭スピーチの後、司会者・聴衆との質疑応答があります。聴衆との質疑応答は、“skim”で OK。

Lecture 6: 11/5/2012 The Future of War and Conflict

Reading Assignments:

- Joshua S. Goldstein, “Think Again: War,” *Foreign Policy* (September/October 2011).
http://www.foreignpolicy.com/articles/2011/08/15/think_again_war?page=full

Revolution 5: Economic Integration

Lecture 7: 11/12/2012 Economic Integration (1)

Reading Assignments:

- Thomas L. Friedman, NY Times Foreign Affairs Columnist
“The World is Flat,” May 16, 2005.
Running Time: 1:15:04
<http://mit.tv/wxmLTx>

Note: 今回の課題は動画(フリードマン氏がマサチューセッツ工科大学で行った講演)です。最初の 3 分が司会者の紹介、48 分頃までフリードマン氏の講演、残り時間が質疑応答です。

Lecture 8: 11/19/2012 Economic Integration (2)

Reading Assignments:

- *A Special Report on The World Economy, The Economist*, September 24, 2011.
<http://www.economist.com/node/21528979>
 1. A game of catch up
 2. Converging economies
 3. The path ahead (*optional*)

Lecture 9: 11/26/2012 Economic Integration (3)

Reading Assignments:

- *A Special Report on The World Economy, The Economist*, October 13, 2012.
<http://www.economist.com/node/21564414>
 1. For richer, for poorer
 2. History (“The Great Compression” only)

3. Trade-offs
4. Policy prescriptions (*optional but recommended*)

Lecture 10: 12/3/2012 Economic Integration (4)

Reading Assignments:

- “Japan’s Free-Trade Dilemma: Yes, It Should,” *The Economist*, October 29, 2011.
<http://www.economist.com/node/21534837>
- “Free-Trade Agreements: Opening Up the Pacific,” *The Economist*, November 12, 2011.
<http://www.economist.com/blogs/banyan/2011/11/free-trade-agreements>
- “Trans-Pacific Partnership: Far-Reaching Agreement Could Form Powerful New Trade Bloc,” *Financial Times*, November 8, 2011.
<http://www.ft.com/intl/cms/s/0/47dd4d14-06cc-11e1-90de-00144feabdc0.html#axzz2CSq3ADmM>

References:

- 「TPPと東アジアの統合を—覇権争い防ぎ成長めざせ」日本経済新聞(2011 年 11 月 28 日朝刊)
- 「貿易自由化を恐れるな」日本経済新聞(2011 年 11 月 28 日朝刊)
- “Japan and the Trans-Pacific Partnership”—an international conference held at the Brookings Institution, December 2, 2011. (ワシントン DC で日米の官民識者が一堂に会して日本の TPP 参加について議論したイベントの音声録音)
http://www.brookings.edu/events/2011/1202_transpacific_partnership.aspx

Lecture 11: 12/10/2012 Economic Integration (5)

“Economic Integration”を総括するディスカッションを行います。新たなリーディング課題、アクション・ペーパーはありません。発表担当者は、(1)～(4)の講義を振り返り、特に関心の高い議論トピックを数点設定し、12 月 8 日夜までに、ML 上で事前予告して下さい。

Revolution 7: Governance

Lecture 12: 12/17/2012 Governance (1)

Reading Assignments:

- *A Special Report on the Future of the State*, *The Economist*, March 19, 2011.
<http://www.economist.com/node/18359896>

1. Taming Leviathan

Lecture 13: 1/7/2013 Governance (2)

Reading Assignments:

- *A Special Report on the Future of the State*, *The Economist*, March 19, 2011.
<http://www.economist.com/node/18359896>

1. California reel in’
2. A work in progress (*optional*)
3. The gods that have failed—so far

Lecture 14: 1/21/2013 Governance (3)

Reading Assignments:

- *A Special Report on the Future of the State, The Economist*, March 19, 2011.
<http://www.economist.com/node/18359896>
 1. Big society
 2. Seize the moment

Lecture 15: 1/28/2013 調整日

- 期末レポートで選ばれたテーマごとにグループ分けして、情報交換、ディスカッションを行います。

発表担当

講義日	発表者	リアクション件名*
4 月 9 日	<i>Not applicable.</i>	<i>Not applicable.</i>
4 月 16 日	神田、岸本、近藤	12-0416_Population
4 月 23 日	藤井、兵頭、 大久保	12-0423_GlobalAging
5 月 7 日	休講	
5 月 14 日	松井、簗島、本谷	12-0514_Migration
5 月 21 日	中野、西尾、 西崎	12-0521_Food(1)
5 月 28 日	西川 、岡下、新地	12-0528_Food(2)
6 月 4 日	高木、竹上、竹路	12-0604_Water
6 月 11 日	滝下、谷崎、 兵頭	12-0611_Energy(1)
6 月 18 日	采尾、 岸本 、家舗	12-0618_Energy(2)
6 月 25 日	安村、鶴野、 井上	12-0625_ClimateChnage
7 月 2 日	堂園、山本、神田	12-0702_SocialNetworking
7 月 9 日	山田 、近藤、藤井	12-0709_Biology
7 月 23 日	土屋 、井上、松井	12-0723_Toffler
7 月 30 日	調整日	
9 月 24 日	簗島、本谷、 西尾	12-0924_Information(1)
10 月 1 日	中野 、 新地 、岡下	12-1001_Information(2)
10 月 15 日	西崎 、竹上	12-1015_FutureWork
10 月 22 日	竹路、滝下、谷崎	12-1022_Cybersecurity(1)
10 月 29 日	土屋、采尾、山田	12-1029_Cybersecurity(2)
11 月 5 日	家舗、安村、大久保	12-1105_FutureWar
11 月 12 日	鶴野、堂園、山本	12-1112_EconomicIntegration(1)
11 月 19 日	高木 、神田、岸本	12-1119_EconomicIntegration(2)
11 月 26 日	近藤、藤井、兵頭	12-1126_EconomicIntegration(3)
12 月 3 日	井上、松井、簗島	12-1203_EconomicIntegration(4)
12 月 10 日	本谷、中野、西尾	12-1210_Discussion
12 月 17 日	西崎、岡下、新地	12-1217_Governance(1)
1 月 7 日	高木、竹上、竹路	13-0107_Governance(2)
1 月 21 日	滝下、谷崎、土屋	13-0121_Governance(3)
1 月 28 日	調整日	

*綴りは、全て半角英数。ハイフンとアンダーバーに注意。

発表者交代

中野(9/24)↔西尾(10/1)

西崎(10/1)↔新地(10/15)

高木、10/15 欠席分を 11/19 にシフト